

医療情報共有 プラットフォームⅡ期 業務フロー検討用素案

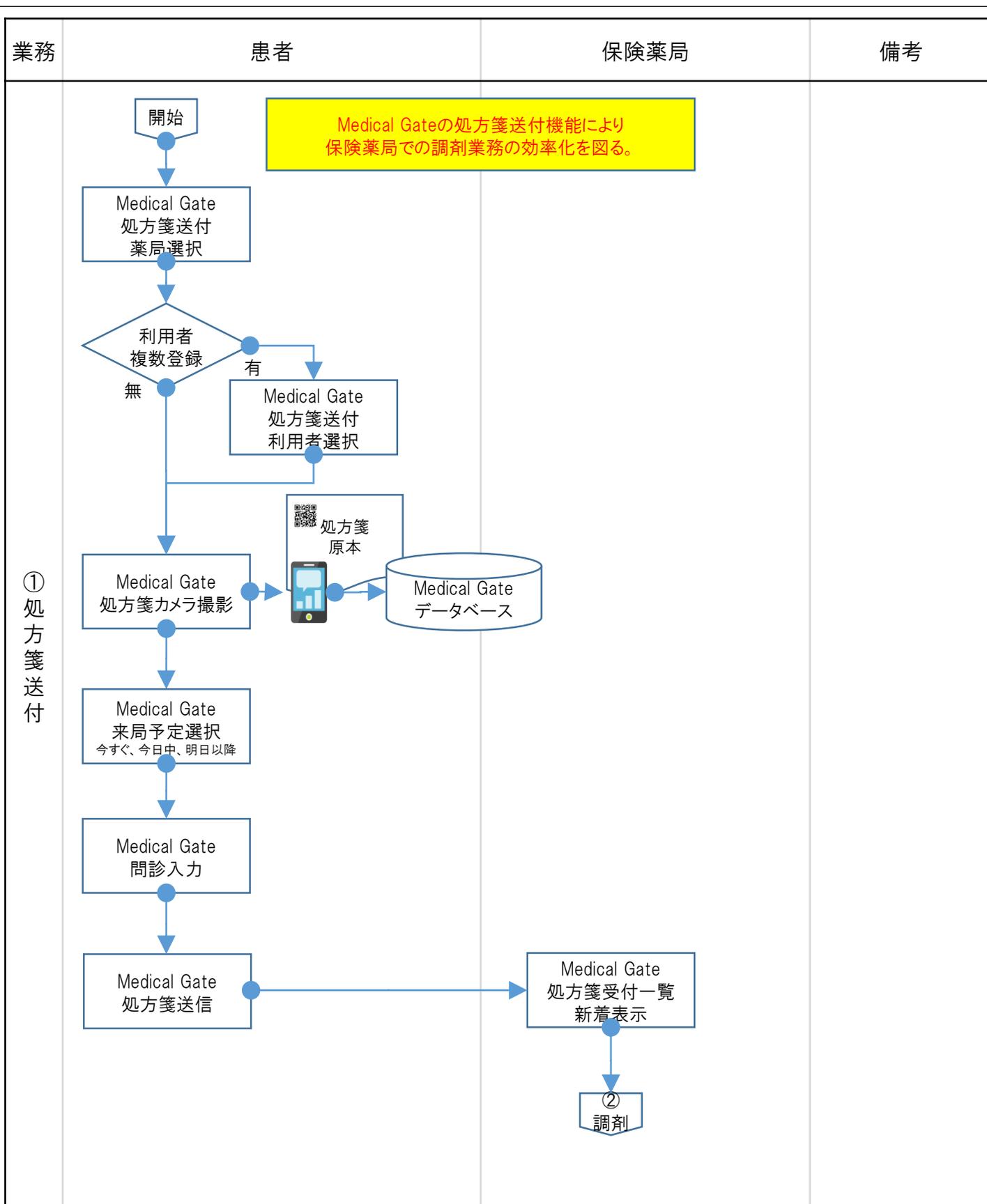
- ①処方箋送付
- ②調剤
- ③変更調剤
- ④請求
- ⑤お薬引き渡し
- ⑥保険薬局レポート
- ⑦持参薬鑑別
- ⑧病院処方レポート

令和5年5月11日
本部事務局

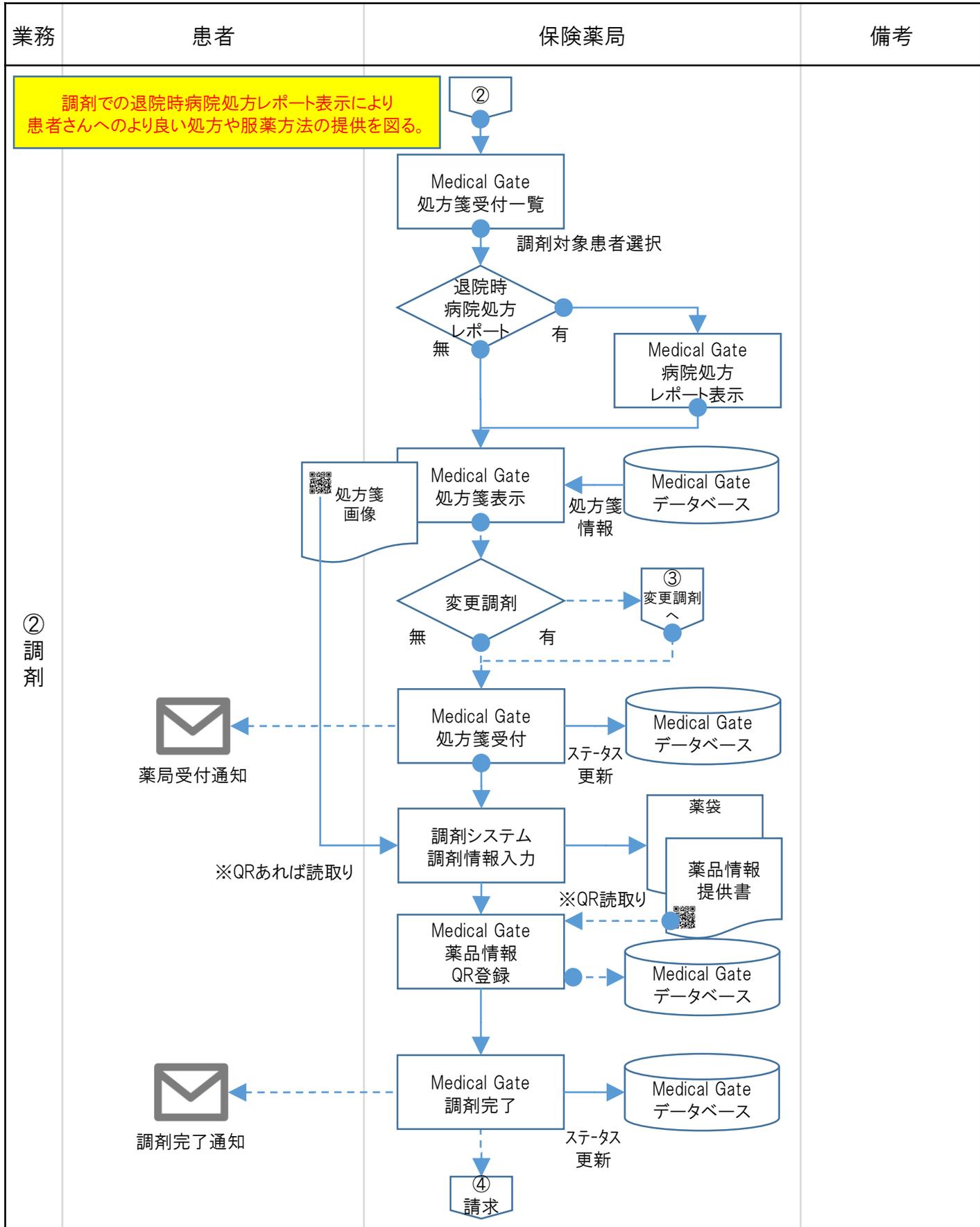


①処方箋送付

1



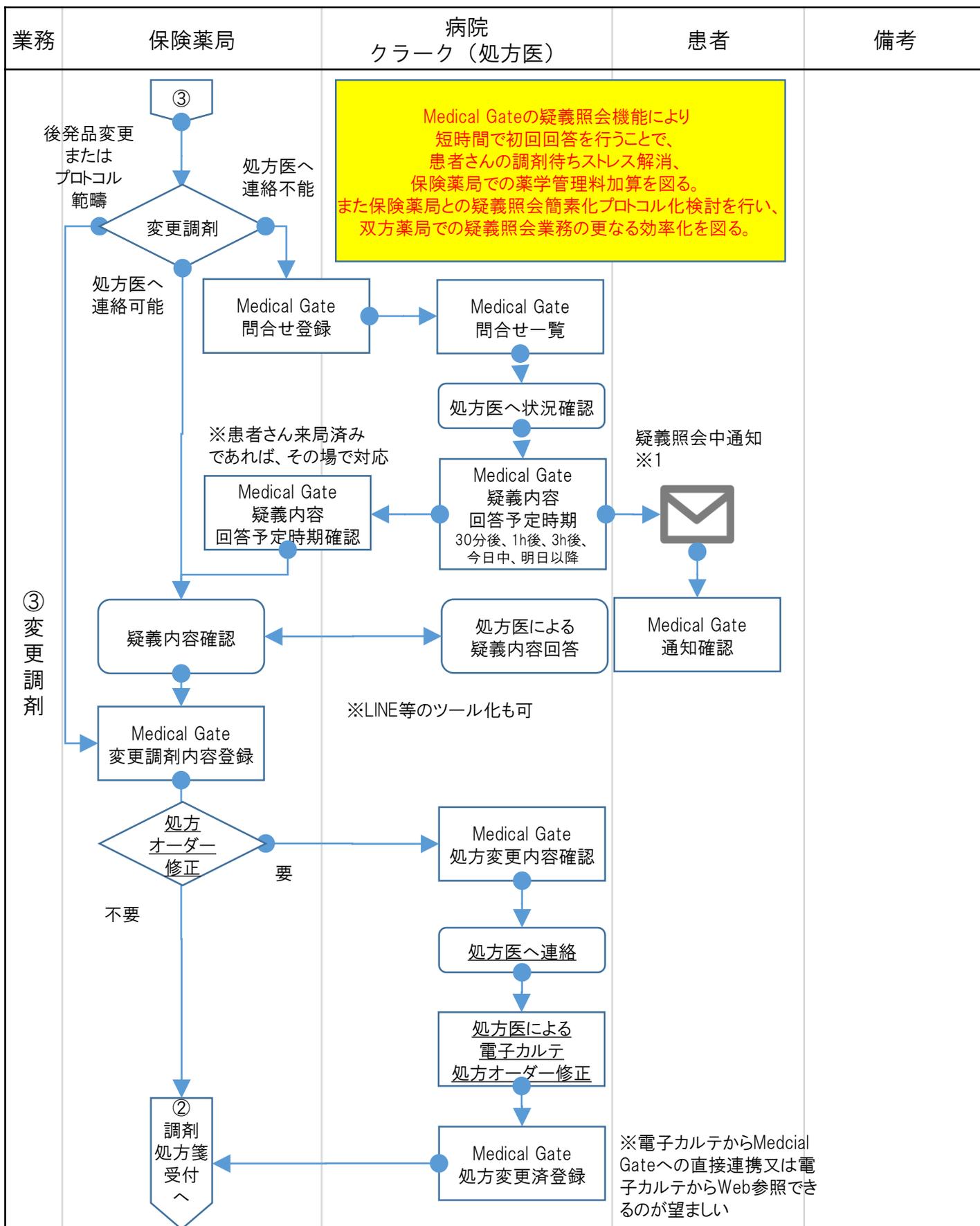
②調剤





③変更調剤

3

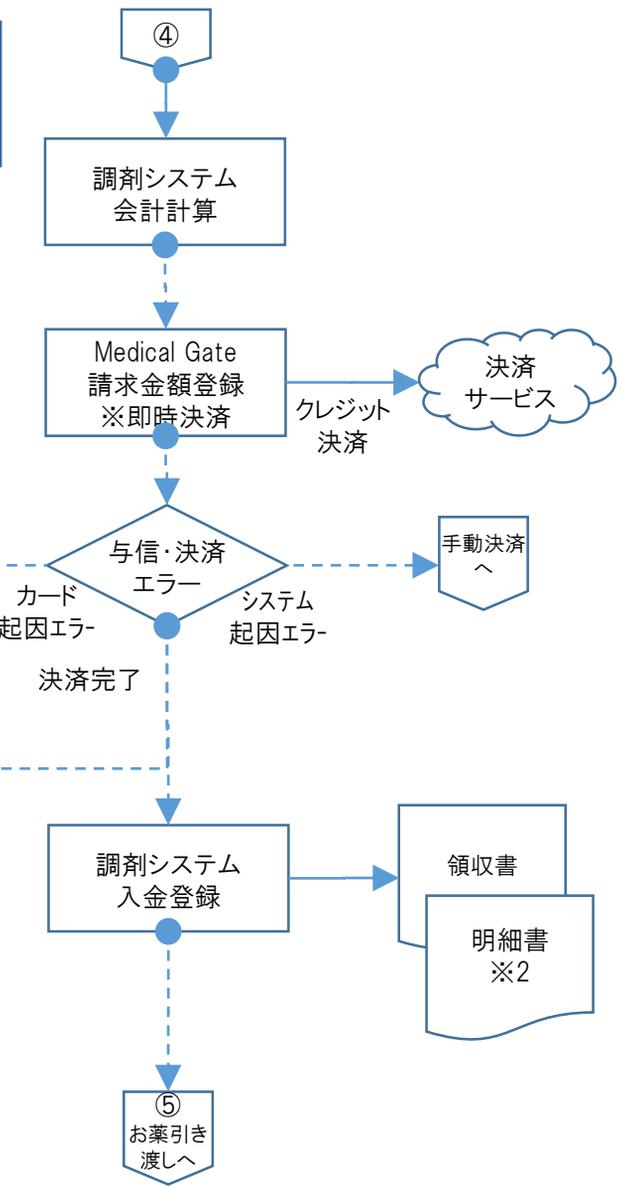


④請求

業務	患者	保険薬局	備考
----	----	------	----

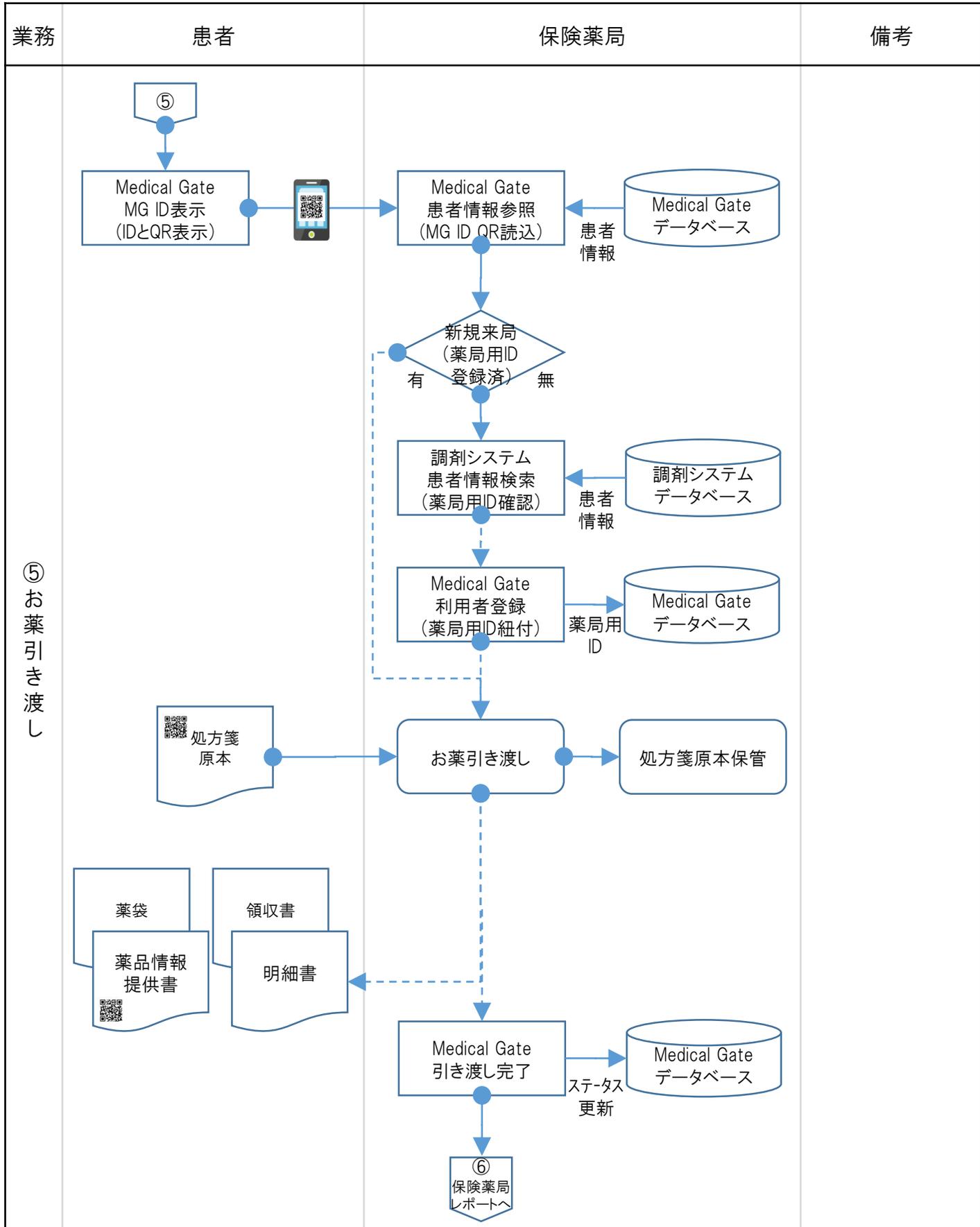
Medical Gateの請求機能での
キャッシュレス化、カードレス化により、
患者さんの調剤会計のスムーズ化を図る。

④
請求





⑤お薬引き渡し

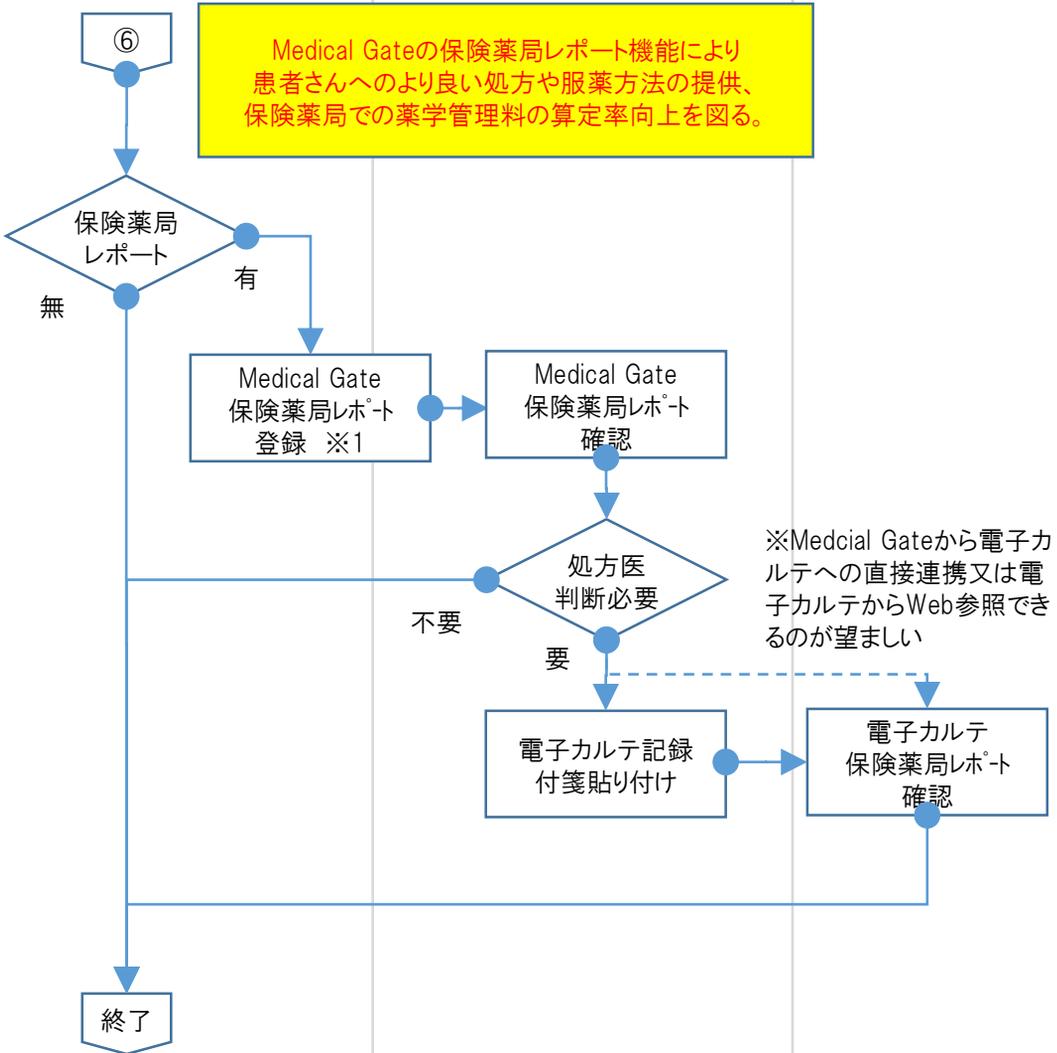




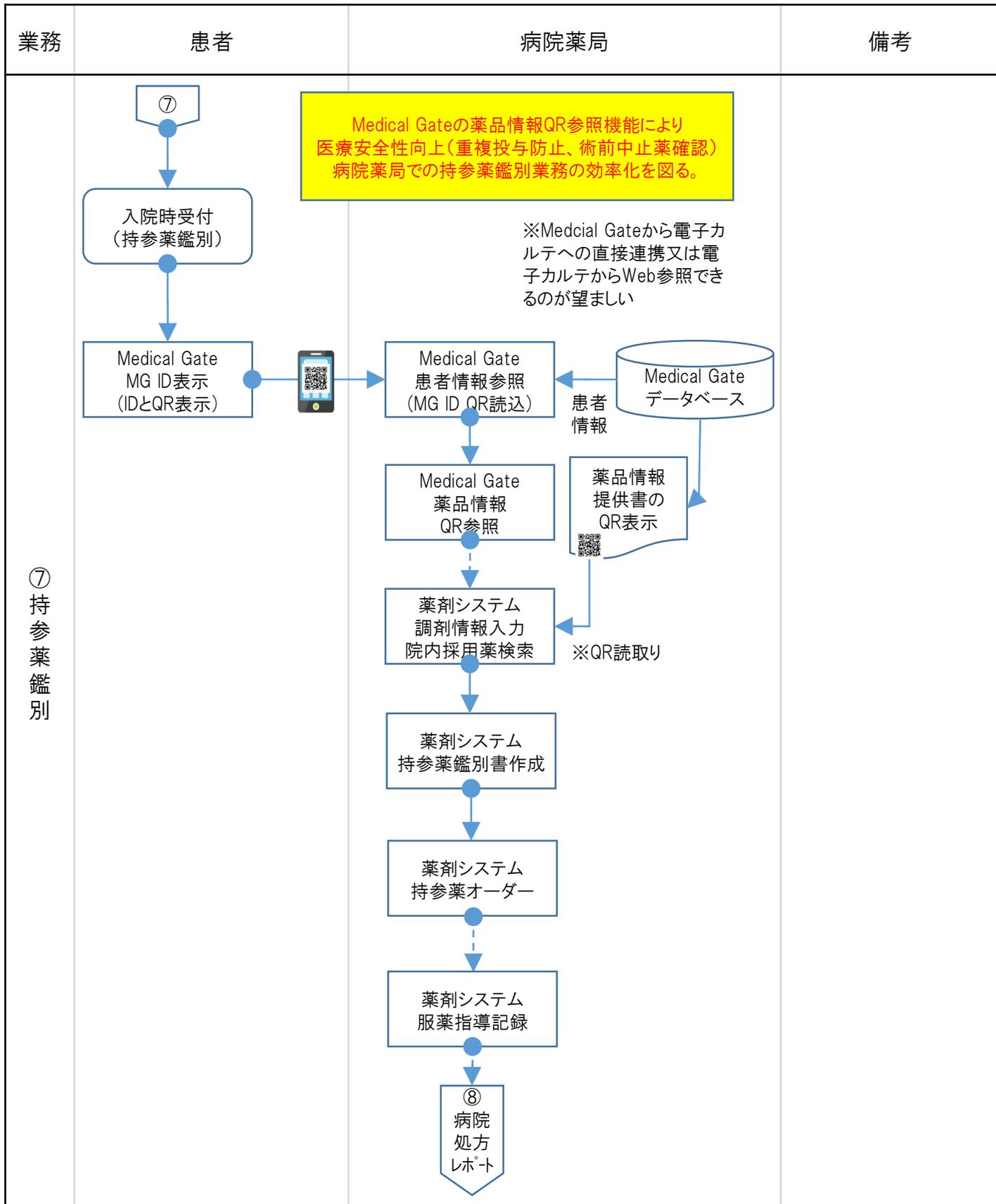
⑥保険薬局レポート

業務	保険薬局	病院 薬局	病院 処方医	備考
----	------	-------	--------	----

⑥ 保険薬局レポート



⑦持参薬鑑別



⑦ 持参薬鑑別

⑧病院処方レポート

業務	病院薬局	保険薬局	備考
⑧病院処方レポート	<p>Medical Gateの病院処方レポート機能により患者さんへのより良い処方や服薬方法の提供、病院薬局での医学管理料の算定率向上を図る。</p> <p>※電子カルテからMedical Gateへの直接連携又は電子カルテからWeb参照できるのが望ましい</p>		

II期は

1. 疑義照会のプロトコル化、効率化による患者さんの調剤待ちストレス解消
2. 病院・保険薬局 双方のレポート共有による患者さんへのより良い処方や服薬方法の提供
3. 病院・保険薬局 双方の業務効率化
4. 病院・保険薬局 双方の管理料算定率向上を目指す。

電子カルテシステムと連携した医療情報参照は、既存の地域医療ネットワーク(万代eネット、おおてまえネット、mocoネット等)で既に構築・運用されている。

重複機能の構築コストや、運用上の混乱を避けるためにも、Medical Gateでは電子カルテシステムと連携した医療情報参照は行わず、プラットフォームの利点を活かした、病院一薬局間での処方や服薬に関するレポート共有を行う。